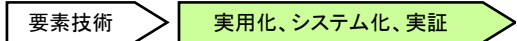


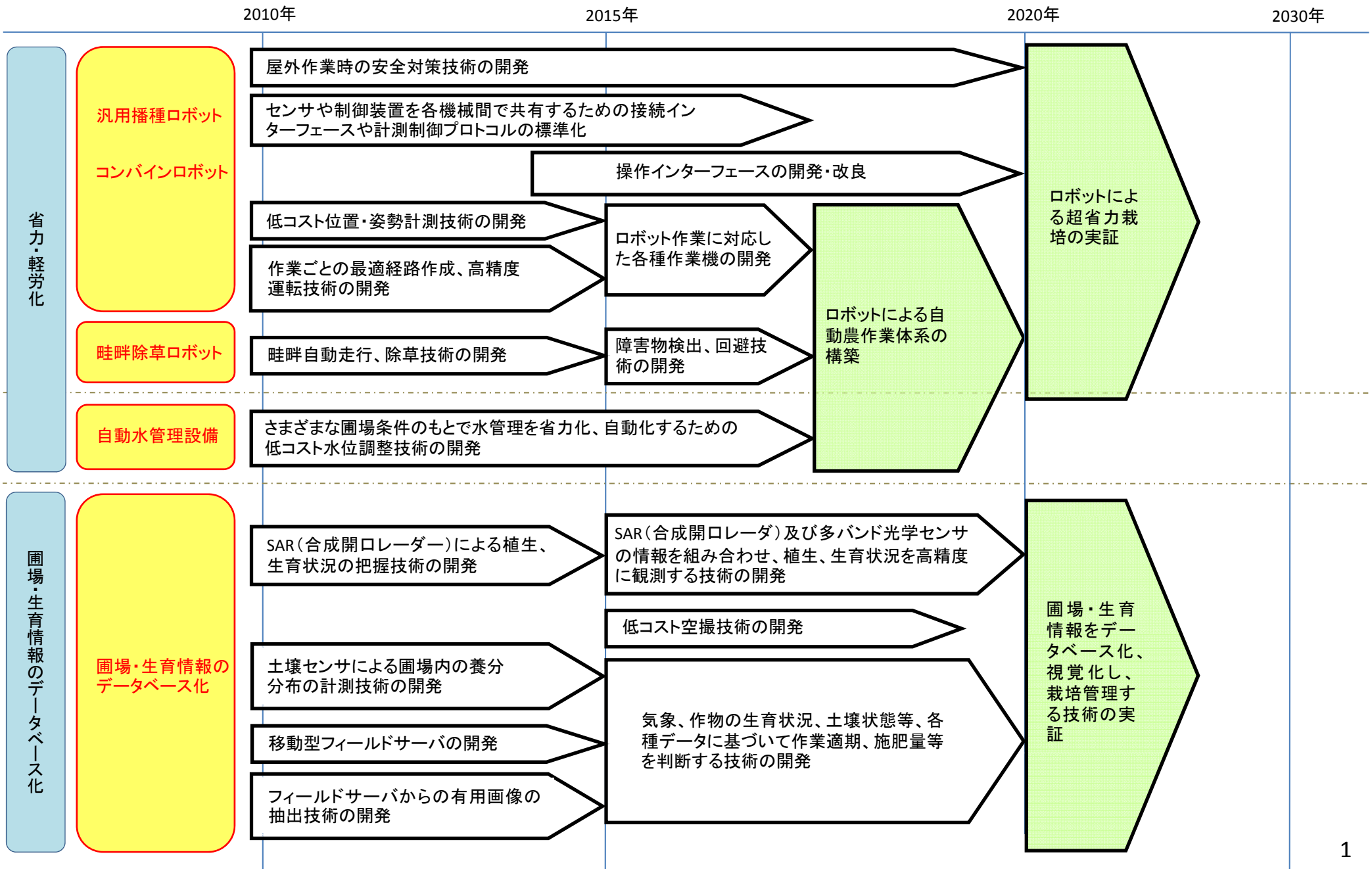
(参考2) 主要な研究課題の工程表

1. 省力化、高品質化、安全性向上のための情報技術(IT)、ロボット技術(RT)の活用 P1
(水田農業/園芸/畜産)
2. 健康長寿を実現するための医食連携 P6
3. 米を多面的に利用するための機能性解明 P7
4. 資源(肥料・飼料)需給のひっ迫に対応するための有効活用 P8
5. 農山漁村におけるエネルギーの地産地消を推進するためのバイオマス活用 P11

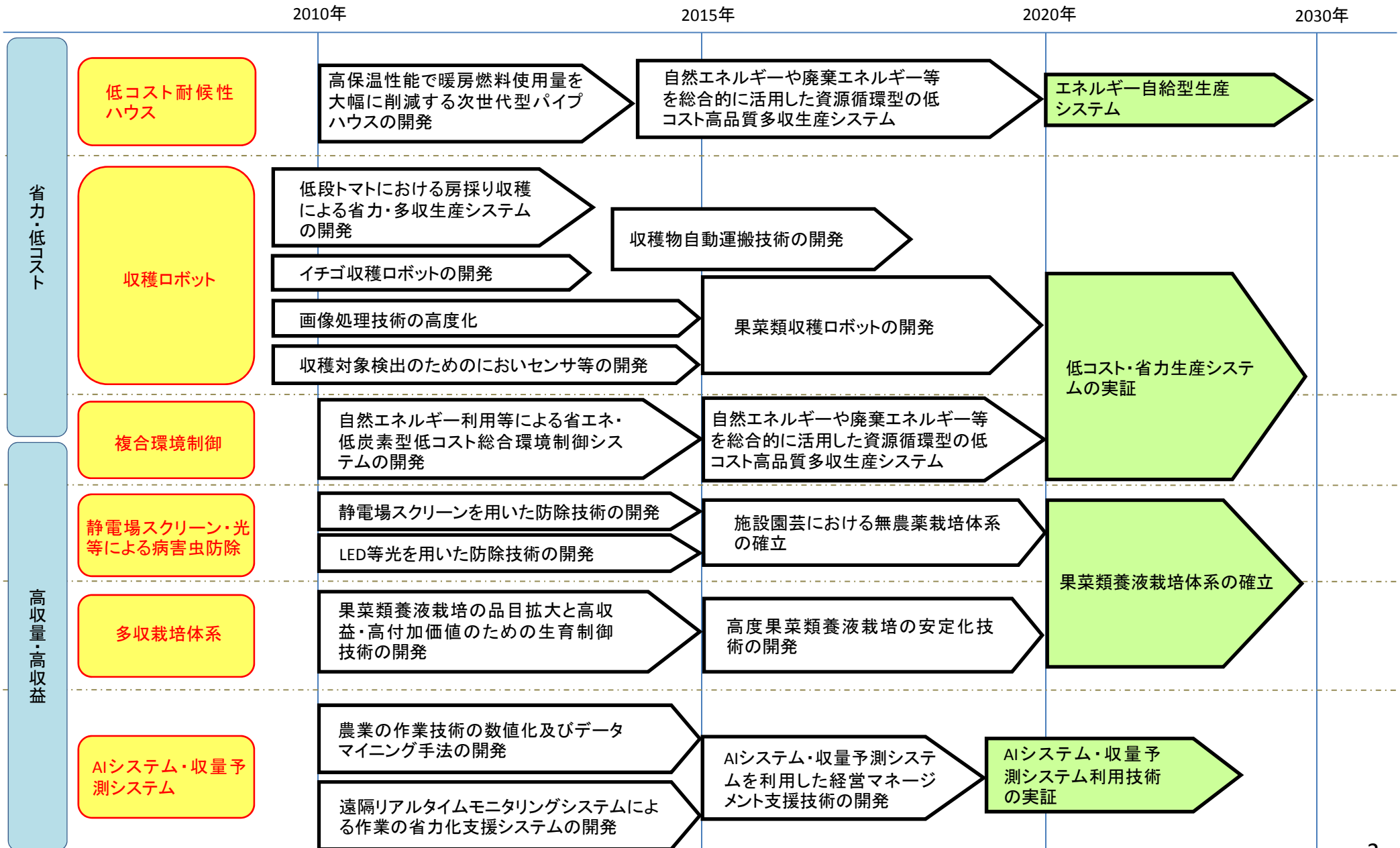
1. 省力化、高品質化、安全性向上のための情報技術(IT)、ロボット技術(RT)の活用



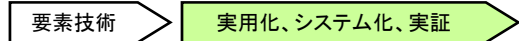
① 水田農業



② 施設園芸



1. 省力化、高品質化、安全性向上のための情報技術(IT)、ロボット技術(RT)の活用



④ 畜産

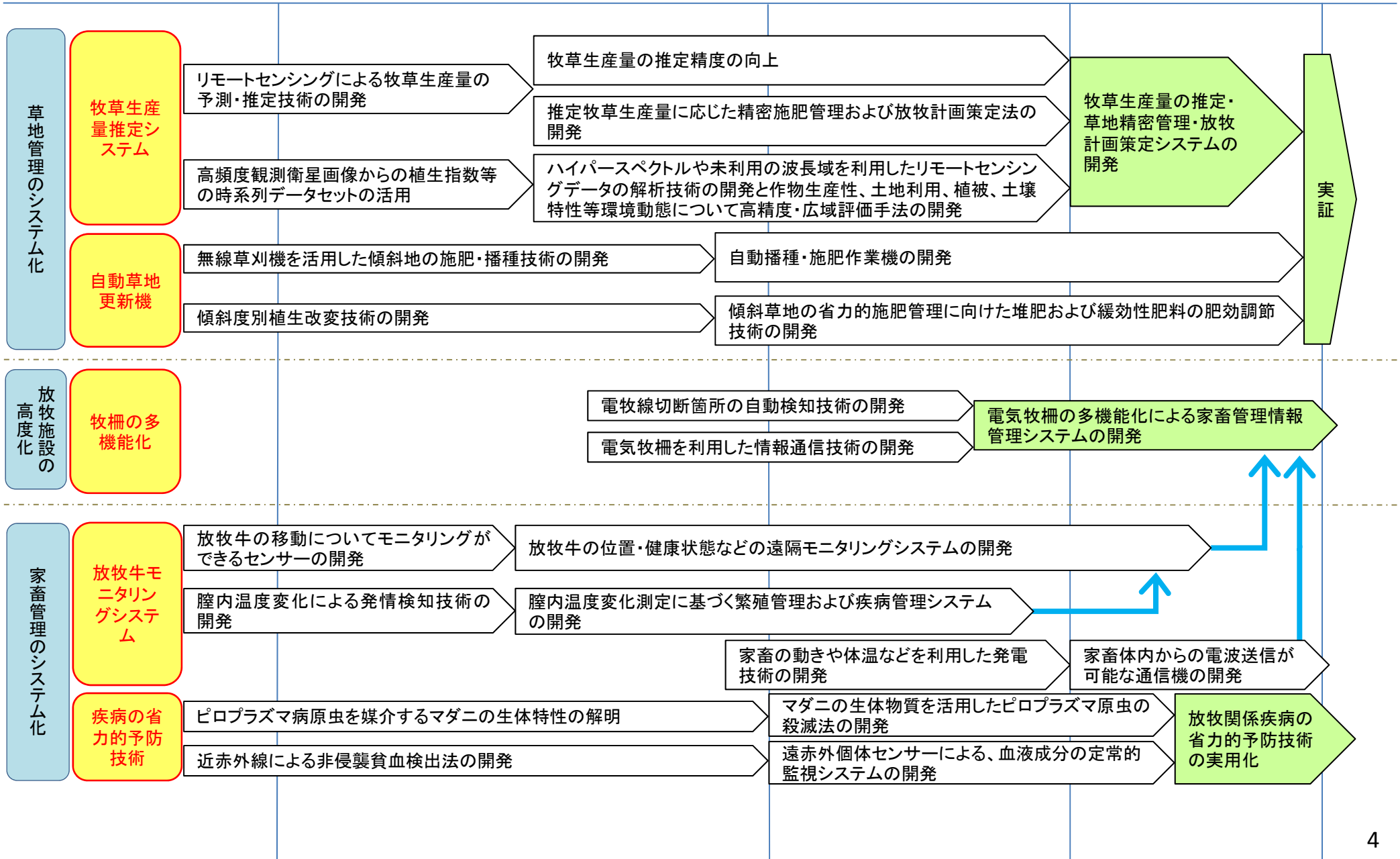
(中山間地域での放牧)

2010年

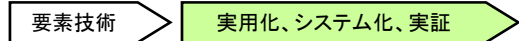
2015年

2020年

2030年



1. 省力化、高品質化、安全性向上のための情報技術(IT)、ロボット技術(RT)の活用



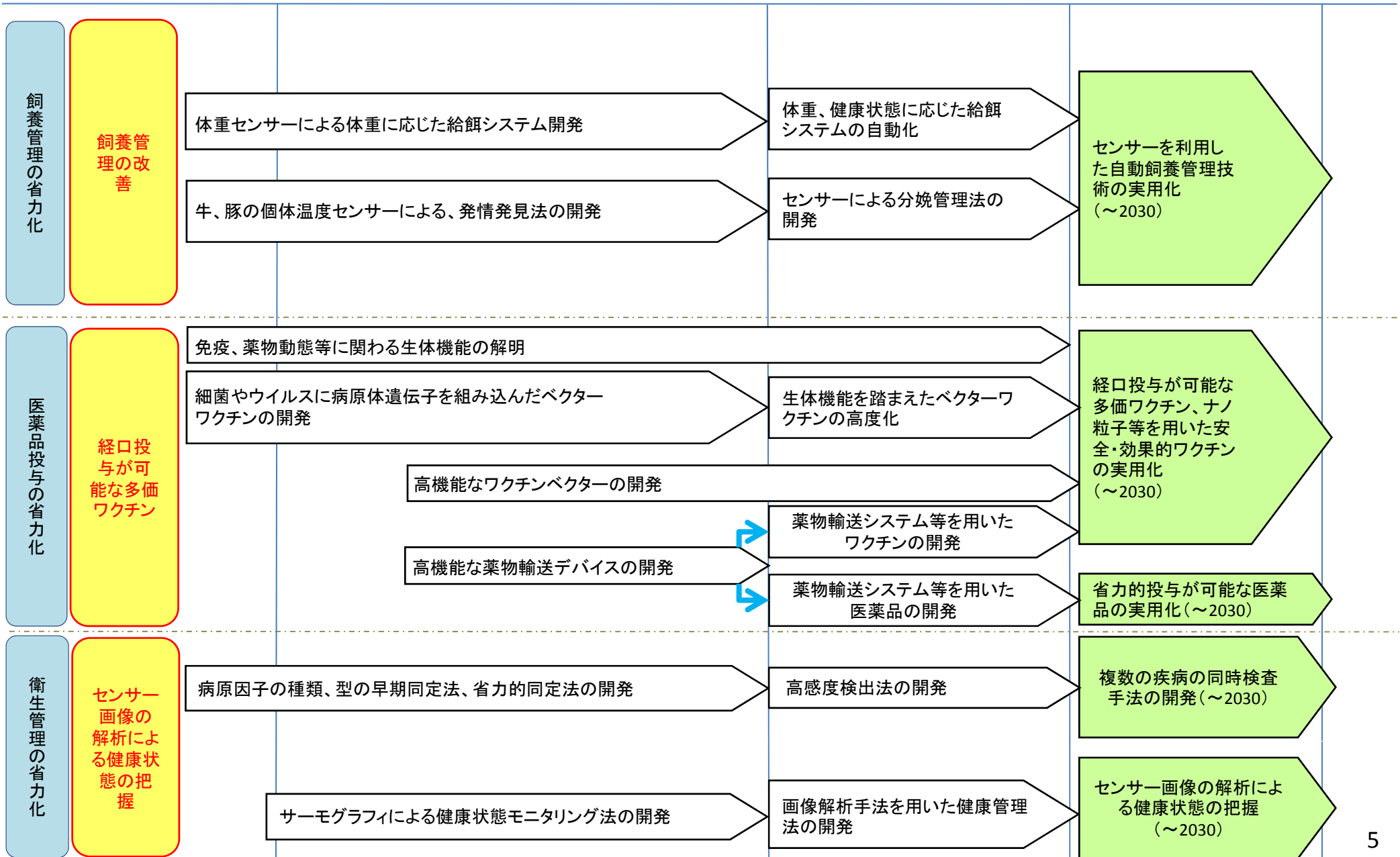
④ 畜産
(畜舎での飼養管理)

2010年

2015年

2020年

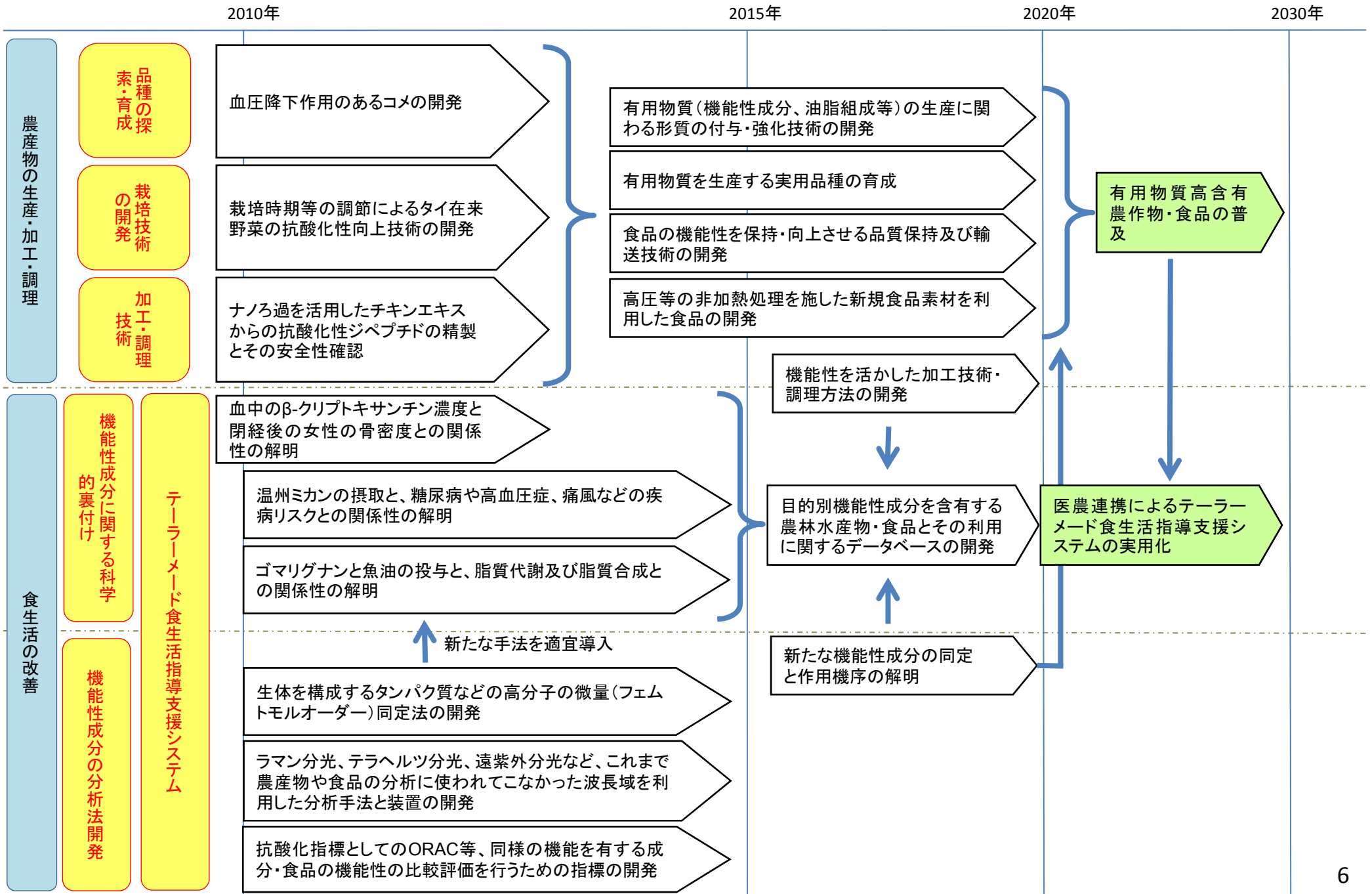
2030年



2. 健康長寿を実現するための医食連携

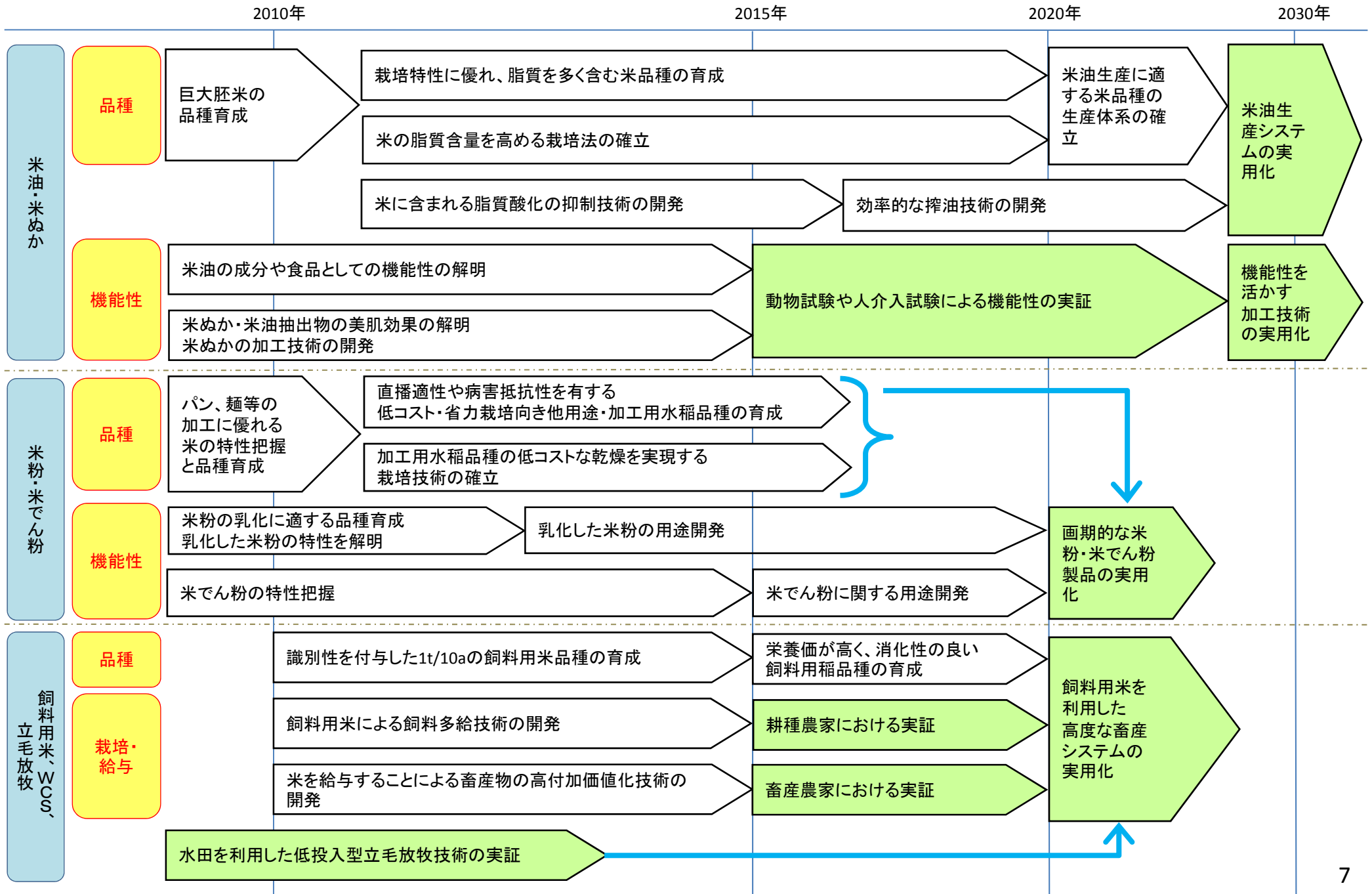
要素技術

実用化、システム化、実証



3. 米を多面的に利用するための機能性解明

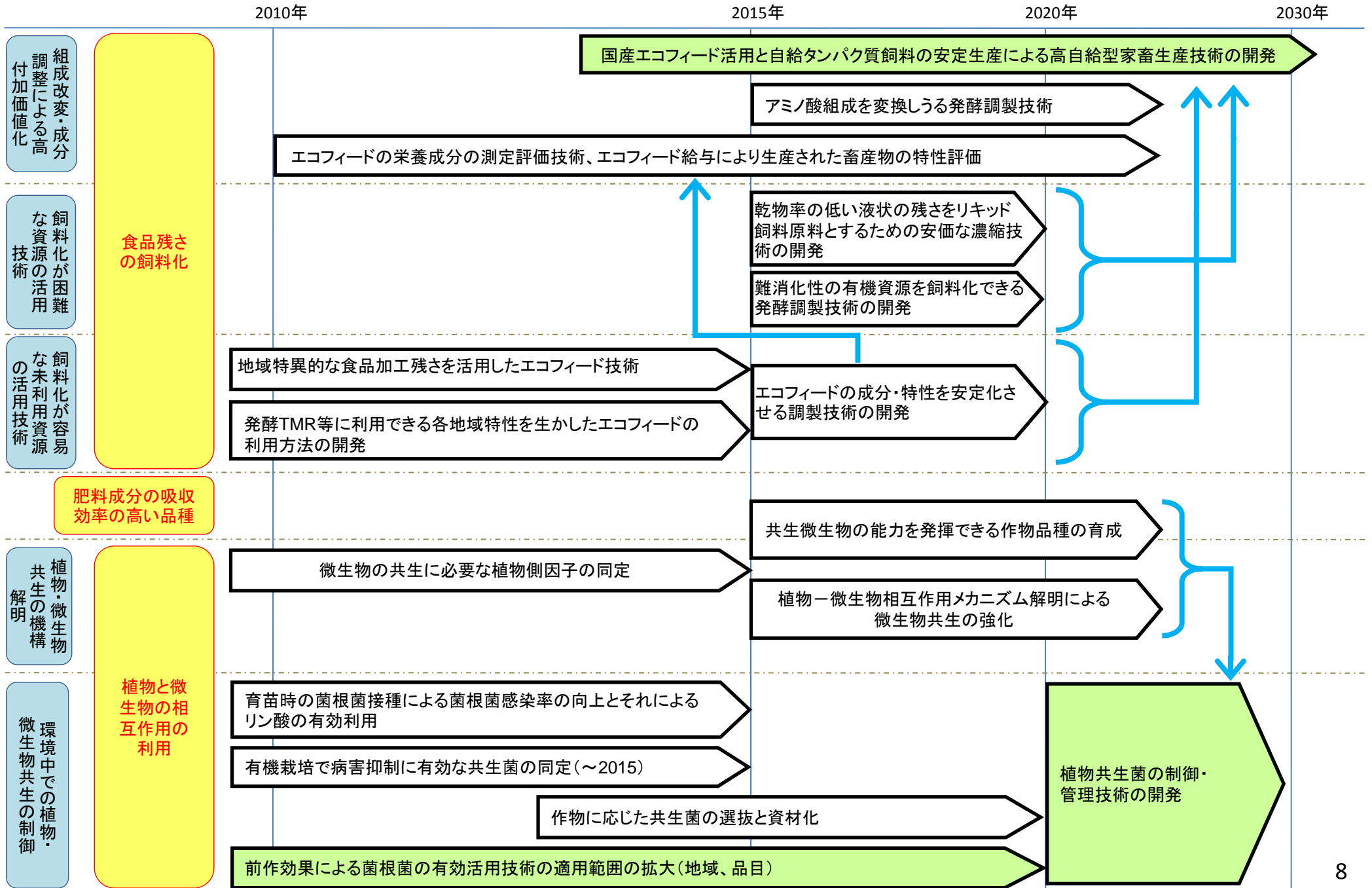
要素技術 → 実用化、システム化、実証



4. 資源(肥料・飼料)需給のひっ迫に対応するための有効活用

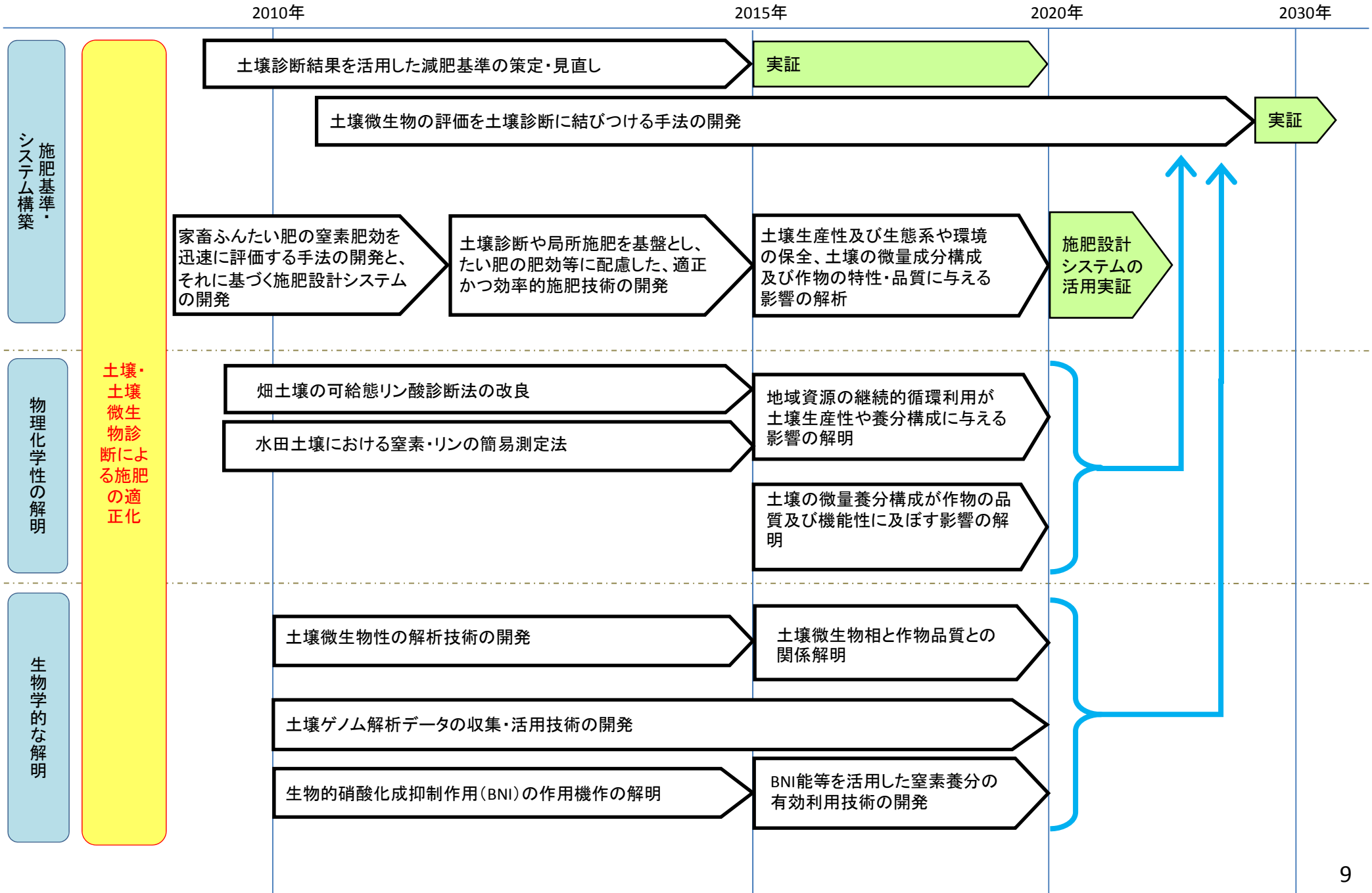
要素技術

実用化、システム化、実証



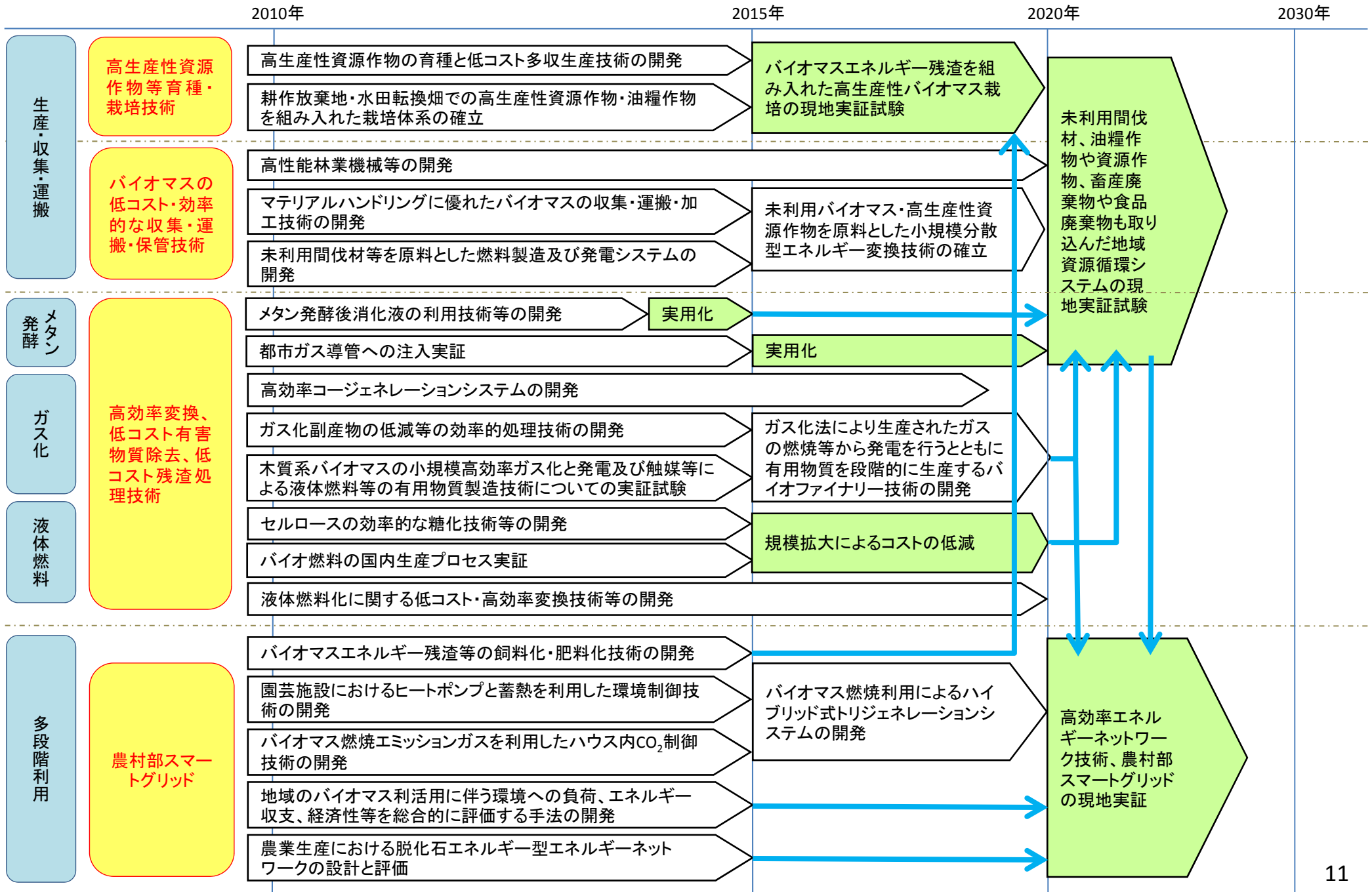
4. 資源(肥料・飼料)需給のひっ迫に対応するための有効活用

要素技術 → 実用化、システム化、実証



5. 農山漁村におけるエネルギーの地産地消を推進するためのバイオマス活用

要素技術 → 実用化、システム化、実証



5. 農山漁村におけるエネルギーの地産地消を推進するためのバイオマス活用

要素技術 → 実用化、システム化、実証

